学校番号	２０２

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校　現代社会　新訂版（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

＊自分の考えを持ち、学習しながらそれを塗りかえていく作業。
＊社会の原理と歴史を知り、自身を客観的に見る。
＊常に世の中のできごとに疑問をもっておくことが、授業意欲を湧かせる。

2　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、社会の基本的な成り立ちや現代社会の諸問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。また、思考力・判断力・表現力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見出し、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通じて収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業への取り組み ワークシート	ワークシート 定期考査	資料の読み取り ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代社会の諸課題 地球環境問題 科学技術の発達と生命	アンケートを行い、学習のはじめの段階での現代社会に関する認識を調査する。 地球環境問題への国際的取組みや資源・エネルギーの現状と課題を時事資料やプリントなどを使って学ぶ。 科学技術の発達を理解し、また生命科学の発達を通して、自身の生命観などを養う。情報化社会においてより重要になる、物事の本質を見極め主体的に生きる力を学び、養う。	○	○	○	○	a:授業への取り組み ワークシート b:定期考査 ワークシート c:資料の読み取り d:定期考査	・授業へ意欲的に取り組んでいるか ・提出物 ・中間考査
	現代社会と人間としての在り方生き方 青年期と自己形成 他者と共に生きる倫理	青年期において重要となる自己形成の課題を学び、職業生活と社会参加を主体的に考え実行できる力を養う。	○	○	○	○	a:授業への取り組み ワークシート b:定期考査 ワークシート c:資料の読み取り d:定期考査	・授業へ意欲的に取り組んでいるか ・提出物 ・期末考査
2学期	現代の国家と民主政治	国家の成り立ちから、国家や法の意義・役割を理解することで、基本的な政治の在り方を考える力を養う。民主政治の思想を歴史的観点からも学び、国民主権、政党政治や選挙の現状と問題点を学び、主権者としての自覚を持たせる。	○	○	○	○	a:授業への取り組み ワークシート b:定期考査 ワークシート c:資料の読み取り d:定期考査	・授業へ意欲的に取り組んでいるか ・提出物 ・中間考査
	日本国憲法と国民生活	日本国憲法制定の歴史的背景、日本国憲法の基本原則の内容を学ぶ。その際、具体的な事例などから憲法を身近な存在として認識させる。戦争・飢え・貧困などを通して人権を最新の事例などからも理解し、個人として、社会の一員としての生き方を考えさせる。	○	○	○	○	a:授業への取り組み ワークシート b:定期考査 ワークシート c:資料の読み取り d:定期考査	・授業へ意欲的に取り組んでいるか ・提出物 ・期末考査
3学期	国際政治の動向	国際政治と国際法を通して、国際社会における政治と法を学び、国家の安全保障や軍縮、人種・民族問題における共存共栄の道を探るための基礎を身につける。	○	○	○	○	a:授業への取り組み ワークシート b:定期考査 ワークシート c:資料の読み取り d:定期考査	・授業へ意欲的に取り組んでいるか ・提出物 ・学年末考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。